

リスペクト F.C. JAPAN シンポジウム 実施報告

1. 日時 2013年9月7日(土) 11:00~13:00
2. 場所 日本サッカーミュージアム・バーチャルスタジアム
3. 参加者数 92名(メディア9名を含む)
4. 実施内容
 - 1). 大仁会長挨拶 (VTR)
 - 2). 基調講演
 - ① テーマ 暴力根絶に向けて
 - ② 演者 眞藤邦彦氏 (JFA 指導者養成ダイレクター)
 - 3). パネルディスカッション
 - ① テーマ 指導者の在り方について
 - ② 司会進行 上川徹氏 (JFA 理事、リスペクト・フェアプレー委員長、審判委員長)
 - ③ パネリスト 眞藤邦彦氏
森島寛晃氏 (元日本代表、セレッソ大阪アンバサダー)
山口香氏 (JOC 理事、ソウル五輪女子柔道銅メダリスト)
綾部美知枝氏 (JFA 特任理事、4種大会部会長、リスペクト・フェアプレー委員)
 - 4). 関連物の展示・掲示
 - ① メッセージの掲示
 - ・ サッカー選手、監督、審判及び他競技の方々からのメッセージや著名人の名言等をパネルで紹介
 - ② ブースの設置
 - ・ 全少コーナー
全少にて実施したワークショップ、選手宣誓の様子を写真やテキストで紹介
 - ・ アワードコーナー
2012年度の応募作品や、SAGAWA SHIGA のアワード授与の様子などを紹介
 - ・ リスペクト宣言コーナー
昨年同様、メンバーからの宣言をいくつかピックアップし紹介
 - ③ 各大会におけるフェアプレー賞トロフィーの展示
 - ④ 暴力根絶ポスター等の掲示
5. 参加者アンケート結果

	大変良い					全く良くない		平均
	5	4	3	2	1	回答なし		
全体評価	18名	20名	6名	2名	0名	3名	4.1	
パネルディスカッション評価	20名	18名	6名	1名	0名	4名	4.2	

6. 主な意見

1). 全体評価

- ① JFA のリスペクトの取り組みについて理解できた（確認できた、あるいは改めて考えるきっかけになった、を含む）。
- ② 困難と思えるような根深い問題だが、子どもの未来に関わっている私たちが地道に積極的に真摯に取り組んで行かなければならないことを再認識した。

2). パネルディスカッション評価

- ① 異なる立場のパネリストの経験談が説得力あり参考になった。
- ② スポーツだけではなく、日頃の生活の中での人との関わり方について考えさせられた。

3). 参考になった点

- ① 指導者のあり方（ダメと言わない指導、子どもたちとの接し方：あのね・・・を引き出すこと）
- ② 何故、指導者は暴力、暴言を用いるのか

4). もっと聞きたかった点

- ① 暴言（いわゆる身体的な攻撃ではない「言葉の暴力」）に関する具体的な事例やその対応について
- ② 暴力根絶を組織的にどのようにすすめていくのか（他競技、海外での取り組みなどを含む）

5). その他意見

- ① 継続開催、また都道府県協会でのシンポジウムを希望する。
- ② 個々の掘り下げが少なかった。多少テーマに対して論点がぼやけた感じがした。

